

# 本太中だより

第11号

さいたま市立本太中学校

048(886)4305

<http://motobuto-j.saitama-city.ed.jp>

E-mail motobuto-j@saitama-city.ed.jp

令和8年2月27日

## 人が集い、思いが繋がる場所として 学校は地域の学びや活動の交差点

校長 田中 一秀

2月としてはあたたかな15日(日)、本校後援会主催による地域合同除草作業が行われました。後援会長様が学区内の自治会へお声がけくださり、当日は30名を超える地域の皆様にご参加いただきました。校舎リフレッシュ工事の影響で、約1年半にわたり立ち入りが制限されていた中庭を中心に、皆さんとともに除草作業を進めました。2時間ほどの作業で環境が大きく整い、地域の力の大きさに感謝の思いが込み上げました。

除草作業は腰や腕に負担がかかり、決して容易なものではありません。しかし、地域の皆様とお話を交わしながら取り組んだ時間は温かく、学びの多いひとときでした。「子どもたちのために」「学校の力になれば」という共通の思いを胸に、皆様が笑顔で作業を進めてくださる姿が大変印象的でした。作業後には、「三代にわたりこの学校に通ったので、何かあれば学校に協力するのは当然」「自治会を超えて地域が交流できるのは素晴らしい」「皆さんと力を合わせて活動できて良かった」など、心温まるお言葉をいただきました。

また、作業には本校生徒も参加し、地域の皆様から多くのお褒めの言葉をいただきました。初めは緊張した面持ちであった生徒たちも、大人の皆様から声をかけていただく中で励ましや喜びを実感し、終了時には達成感あふれる笑顔へと変わっていました。「知らない大人と話すのは緊張するけれど、応援されると嬉しい」。その小さな成功体験が、今後の成長に大きくつながることを願っています。

私は、2月21日(土)に、兵庫県神戸市で行われた研究会にも参加しました。この研究会は、大学院で共に学んだ仲間が自らの研究と実践を深めるために年2回開催しているもので、冬は全国から仲間が集まります。この私たちが学んだ大学院は、教育機関や官公庁、企業などで10年以上の経験を積んだ者が集う場であり、この研究会は、大人になってから出会った大切な友人との学び合いの機会となっています。近年、大人になってから出会った友人からのご縁で新たに繋がった仲間も多く、同じ志を持つ仲間がさらに増え、私の学びの輪が広がっていることを実感しています。

学校は子どもの学び舎であると同時に、地域の学びや活動が交わる場でもあります。今回、多くの地域の皆様が「学校のために、子どもたちのために」と集まってくださり、ともに汗を流せたことは、学校という場所が人と人をつなげる大切な役割を果たしていることを改めて感じさせてくれました。大人同士がつながり、子どもと大人が互いに学び合う。そんな温かい地域づくりを、私自身も皆様の仲間として共に進めていきたいと強く思っています。

「この道を行けばどうなるものか。危ぶむなかれ、危ぶめば道はなし。踏み出せばその一足が道となり、その一足が道となる。迷わず行けよ。行けばわかるさ。\*」3年生の皆さん、自分の信じた道を勇気をもって歩み、未来へ踏み出してください。

皆さま、本年度も大変お世話になりました。来年度もどうぞよろしく願いいたします。

\*アントニオ猪木が引退試合で読んだ詩 (清沢 哲夫 「道」を引用)